



川口 健一

より安全・快適で豊かな建築空間実現のために

## 人と非構造材と室内空間に関する研究会

RC-85

### 1. 代表幹事

川口健一（東京大学 生産技術研究所 教授）

#### 幹事

荻 芳郎（東京大学 生産技術研究所 特任講師）

秋田大輔（東京大学 生産技術研究所 助教）

### 連絡先

川口健一

Tel : 03-5452-6403

Fax : 03-5452-6405

e-mail : [ogi@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:ogi@iis.u-tokyo.ac.jp)

## 2. 主旨

室内空間で我々に最も身近な場所にある、天井・壁などの仕上げ材や設備機器などは「非構造材」と呼ばれる。「非構造材」は室内空間を利用する「人」の安全や快適性に大きな影響を与える。同時に、非構造材の落下損傷は、安全なはずの室内空間を瞬時に非常に危険な場所に変えてしまう。2011年の東日本大震災では夥しい数の天井材や設備機器の落下事故が起き、死傷者も発生してしまった。現在、非構造材の落下安全性は大きな問題となっている。

本研究会では、内部にいる「人」を中心に、まずは非構造材の落下事故防止、人命保護、耐震性能向上、機能維持等を快適な空間を損なわずに行う方法について、さまざまな知見を交換する。さらに、意匠性、断熱性能、音響性能、耐火性能などに関して、専門家の知見を得ながら、最新の知見の共有化を行い、内部空間を利用する「人」にとって、より安全・快適で豊かな建築空間を実現するための、非構造材のあり方とその可能性について意見交換、議論を通して共に考える。

## 3. その他

期 間：平成25年9月～平成26年8月

参 加 費：賛助員の場合（賛助会費1口10万円）：50万円  
非賛助員の場合：60万円

定 員：最小10社、最大20社  
1社当たり5名程度まで

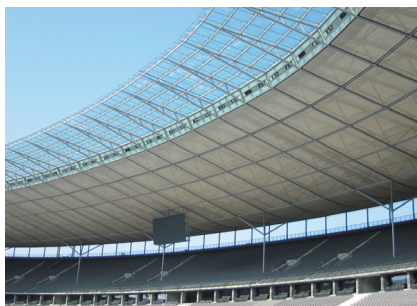
運 営 方 法：年4回程度（1回3時間程度）の研究会を開催予定  
関連分野の研究者・実務者・技術者による講演並びに情報交換・意見交換を行う。



阪神大震災での大型設備機器の落下事例



東日本大震災での天井落下事例



美観に優れた天井の一例



落下防止ネットの設置事例